



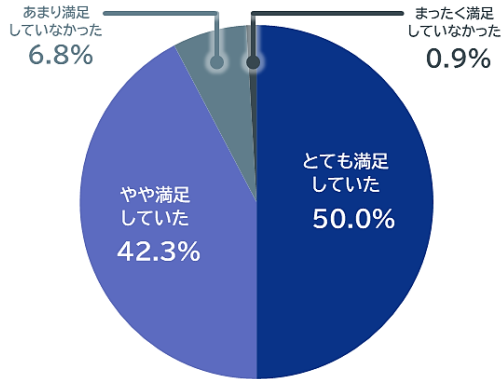
京都産業大学

2022年度 卒業生調査レポート(抜粋版)

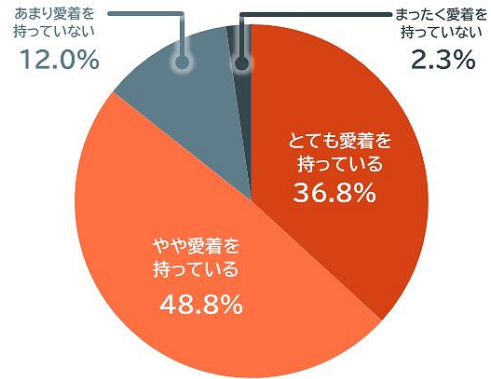


SNS公式
キャラクター
むすぶくん

01 卒後数年たってから振り返る学生生活の満足度は9割以上。母校への愛着も持ち続けている。



「京都産業大学で過ごした学生生活に満足していましたか」という質問項目を選択肢別に集計

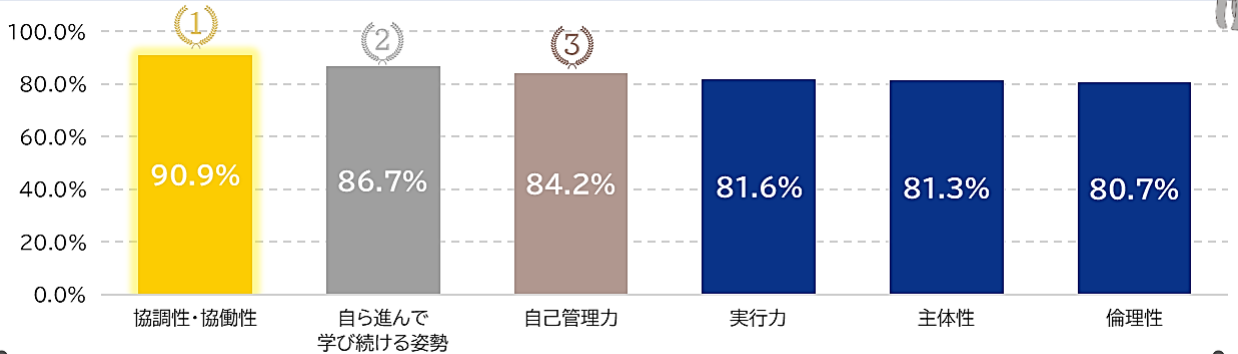


「卒業生として京都産業大学に愛着を持っていますか」という質問項目を選択肢別に集計

Plus ONE Analyze

満足度の質問で「とても満足していた」と回答した卒業生のうち61.7%が愛着の質問で「とても愛着を持っている」と回答。満足度と愛着には強い関連があるようです。

02 多様な資質・能力を身に付けていたことを社会に出てから実感。協働性の修得度が特に高い。

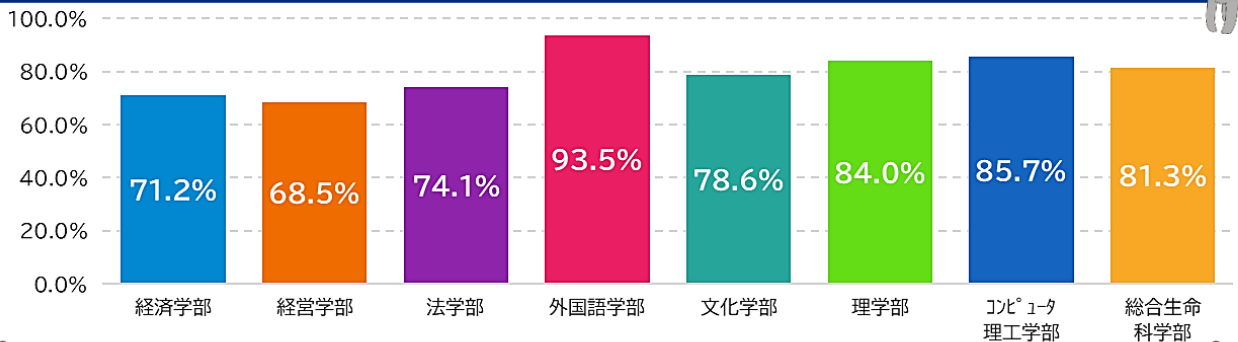


在学中に修得した資質・能力のうち態度・志向性の6項目において「かなり身に付いた」「身に付いた」「少し身に付いた」の合計割合を修得度として算出

Plus ONE Analyze

「在学中にゼミ・演習に力を入れた」と答えた卒業生の「協調性・協働性」の修得度はさらに高まり、94.5%。また、態度・志向性以外にも「所属学科の専門的知識(修得度87.2%)」「課題発見・解決能力(修得度74.4%)」など、様々な知識・スキルを修得・醸成しています。

03 どの学部も積極的に授業に参加していた。これが多様な資質・能力の醸成のカギ。



「授業中、グループワークやディスカッションに積極的に参加した」という質問項目において「よくした」「時々した」の合計割合を学部単位で算出

卒業生調査2022 調査概要

- 調査期間: 2022年8月8日～8月28日
- 調査対象: 2015年3月および2019年3月の卒業生
- 調査方法: 対象者にハガキを送付し、Webアンケートフォームにて回答
- 回答者数: 439件